# 一般質問



薄井孝彦

# 1. 町事務引継にともなう不祥事を受け、町はどう改善するのか。

【質問】平成29年度で廃止予定であった「農地集積奨励金」制度が担当課の体制不備により、町は 806万円の不要な支出をせざるを得なくなった。町はどう改善するのか。

《回答(町長)》新規の事務引継書を作成し、来年度から実施する。

【質問】課全員で引継ぎを行うなどで事務内容を課職員が知り、協力する課体制にしていくことが、再発防止につながる。この点も活かし、「事務引継ぎ規定」として条例化すべきでは。 ≪回答(町長)≫新規の事務引継書には必要な事項を網羅した。1年間やって問題があれば考える。

【質問】新規の事務引継書はいつ議会に示すのか。議会の意見を検討し、改善する考えはあるのか。 《回答》1月に示す。変更は考えていない。

### 2. 災害時逃げ遅れゼロの取り組みを! 田んぼダムの取り組みを!

【質問】大災害時逃げ遅れゼロにするため地区防災計画の作成に町の支援を。 ≪回答≫本年2月に説明会を開催する。

【質問】災害時、避難所へのペットとの同行避難について飼育者への啓発を。

《回答》町ホームページ・広報誌に載せ、チラシ配布などで啓発する。

【質問】実践的な指定避難所運営訓練(HUG:避難所運営ゲームなど)の実施を。 ≪回答≫来年度、実施する。

【質問】水田の貯水機能(田んぼダム)の取り組みの進捗状況と今後の取り組みは。

本年6月定例会一般質問で、水田の貯水機能(田んぼダム)を活かした水害対策を問うた。国は多面的機能支払い交付金事業資源向上支払い(共同)の水田面積の50%以上の水田で田んぼダム取り組めば、10アール当たり300円を加算するとしている。田んぼダムの取り組みは内川などの内水氾濫や湛水被害の軽減に役立つ。町は「多面的機能交付金事業地区の代表者会議」で田んぼダム事業の内容を説明し、地区での取り組みを検討いただくと回答したが。

《回答》2地区から実施したいとの回答であった。今後も田んぼダムを啓発していく。

# 3. 企業版ふるさと納税「地方創生応援税制」を導入し、「花とハースの里池田町」の取組み強化を。

【質問】町財政に負担をかけない「企業版ふるさと納税」を導入し、「花とハーブの里 池田町」の取り組み強化を! ≪回答≫「企業版ふるさと納税」の活用は有益であり、必要と考えるので、研究していきたい。

【質問】ハーブ園・ガラス温室の将来ビジョン・施策について早期に示し、パブリックコメントを年度内に実施を。 ≪回答≫施策提示の期限は明言できないが、研究する。

## 4. 町長は町行財政の改革をどのように進めるか。

【質問】町行財政改革推進委員会会長からの町長発言について撤回する考えは。

≪回答(町長)≫町行財政革推進委員会会の答申はご意見として伺った。職員の責任・給料削減についての考えは変えない。【質問】持続可能な町に財政構造の転換を! 「経常経費削減策」について理事者・町職員で対応策の検討を。

**《回答(町長)**≫来年度財政シミュレーションで対応策を示す。職員とは「財政安定化プロジェクト」で検討している。

# 一般質問



#### 1. 福祉灯油の実現を!

【質問】灯油価格が上昇している。低所得者、ひとり親世帯、民間福祉などに福祉灯油の助成を。 ≪回答≫住民税非課税世帯、75歳以上の高齢世帯、ひとり親世帯などに1万円、生活保護世帯に8千円を

《回答》任氏柷非課柷世帯、75歳以上の高齢世帯、ひとり親世帯などに1万円、生活保護世帯に8十円を 助成する。民間福祉施設への助成は考えていない。

【質問】2014年、国は福祉灯油の趣旨を鑑み生活保護世帯の収入として福祉灯油を認定せずとしているが。 ≪回答≫調査する。(議会最終日、生活保護世帯も1万円とすると回答)

【質問】生活保護の冬季加算を長野県は11月から実施だが、北海道と同じ10月から実施するよう国、県に要望を。

≪回答≫大町保健福祉事務所に伝える。

# 服部久子 2. 米価下落にたいしての町の対応は。

【質問】米価が下落し、燃料代・肥料代の高騰も加わり、大規模農家ほど影響が大きい。全国の多くの自治体で米価下落の補助 を行っている。町の対応は。

《回答(町長)》町財政を考えると独自の対策はとりにくい。農業者と意見交換の場を具体化する。

【質問】県は霜で農作物の被害に対して「災害経営支援利子補給金」を出す。米価暴落もコロナの 影響で自然災害ととらえ対象にならないか。

《回答(町長)》コメの作況は平年並みと評価があり、自然災害とは別である。。

#### 3. 会染保育園の町民説明会とパブリックコメントによる町民アンケートを通しての、町の考えは。

【質問】パブリックコメントの結果は。

《回答》会染地区での移転新築案 8・現地建設案10、池田保育園への増築統合案46であった。

【質問】説明会で統合案は、「会染、中鵜地区に若い世帯が住みにくくなる。送り迎えが困難になる」 などの意見が出た。町長の考えを聞く。

《回答(町長)》今年度中に2案にしぼるが、更に、意見を聞いていく。

# 4. 子どもを守るための新型コロナ感染症対策を。

【質問】感染力の強いオミクロン株により、12歳未満の児童はワクチン接種の対象になっていないので感染が危惧される。 保育園、学校、児童センターで国の補助(検査促進予算)を使い、PCR検査の定期検査を求める。

《回答》国の検査促進予算は県の検査体制を充実させるものであり、町の検査を実施するものでない。検査は考えていない。

